あいさつ１００％の推進　　平成１９年

学　校　だ　よ　り　12月　NO.10

http://www.funakoshi-e.educity.hiroshima.jp/ 広島市立船越小学校　平田健三

コミュニケーション，かかわりあい　を大切に

安芸クラシックコンサート　１１月２９日（木）

美しい音色に子どもたちも引きずり込まれるようにシーンと耳をすます。まさにホンモノ体験。ピアノ、クラリネット、オーボエのそれぞれ一流奏者の演奏を鑑賞。体育館は、演奏が終わる度に大きな拍手に包まれる。低学年、高学年とそれぞれ１時間ずつの演奏。寒さも忘れ文化の秋を堪能させていただいた。感謝！

いい気持ちで１１月が終わる！

一銭洋食　１１月３０日（金）

「昔の生活を知ろう」の学習の一環として、今年も一銭洋食に５年生が挑戦。例年のように地域の朝倉様をはじめ４名の方にご指導いただいた。簡単！安い！おいしい！三拍子そろった昔ならではのお菓子。作るコツを上手に教えていただき、一人一人が作った。出来たての一銭洋食を味わいながら地域の方との触れ合いタイム。いろいろな形で地域の方との双交流のある活動を大事にしたい。

「家でも作ってみたい！」と言う声がさっそく上がっていた。家庭でも一銭洋食づくりで親子の触れ合いを！

生け花体験に取り組んだ六年児童の感想より

お花を生けるのはむずかしいかどうかがたずねられると、生けるとき、花をとめてもらえるとすごいと思いました。

私は少しの差でも、全くちがう物になる生け花はむずかしいけど、とてもおもしろいと感じました。

子どもの感性は鋭い！　やはり鉄は熱いうちに打てだ。

秋は終わっても「あきだよ」は続く

あ　いさつ１００％
き　く子は伸びる
だ　まってそうじ
よ　むこと大好き

「あいさつ」「話す・聞く」「そうじ」「読書」に重点を置いた指導を年間を通して取り組んでいる。これらは、子ども達に確かな学力、豊かな心を育てていく基盤となる力である。家庭でも実践、指導できる。指導の効果を上げるためにも家庭と連携して取り組んでいきたい。

魚を与えるより、釣り針を与えよ。釣り針を与えるより、釣り針の作り方を教えよ。

中国のことわざである。魚よりも、釣り針よりも、釣り針の**作り方**を身につけることが生きる力となる。お腹がすいたらまた魚を釣ることができる。

釣り針の作り方とは何か。
明るくあいさつができる
ありがとうが言える
人の話が聞ける
本が読める…

※人生を豊かに生きるために身につけさせたい力である。

広島市小学校音楽祭に出場　１２月１日（土）

「『やさしい風に』、『千の風になって』（合奏）」を発表した。しっとりとした、ていねいな演奏だった。音楽クラブ 10 人に有志 11 人を加えた 21 人が練習の成果を披露。少人数での合奏は、一人のミスでもよく分かる。まして、アステールプラザ大ホールのステージに立てば、高まる緊張もいかばかりか。前にも述べたが緊張の数だけ子どもは成長する。２１人それぞれがこの貴重な体験を今後に生かしてすすむであろう。

本校では表現する場、発表する場を数多く提供すること、価値ある体験を多様に積ませることを大事にしている。例えば、俳句、短歌、標語、詩、作文、読書感想文、スピーチ大会等々に積極的に応募している。いろいろな賞をいただき、児童の自信になっている。水泳や陸上の記録会への参加は欠かさず。本年度は全日本ハンドボールのトップに君臨している湧永製薬の選手から直接ハンドボールの指導いただく機会も得た。酔心料理専門学校の講師から一番ダシの取り方や食事のマナーについても直接指導いただいた。水道局の職員の方にもお世話になった。海田税務署、国土交通省にはこれから税の学習やバリアフリーの学習でもお世話になる。子ども達の知的好奇心を喚起し学習意欲を高めるために、子ども達一人一人が持っている良さに気づかせ、可能性を引き出すために、私たちはこれからも価値ある多様な取組を考えていきたい。

参加者

６年　下浦玲奈
５年　小迫優実
　　福島水萌
　　井場千晴
　　上田未久
　　大田梨愛
　　佐々木日向子
　　原口茉耶
　　藤原麻帆
　　礒部鞠奈
　　岡村愛香
　　折本麻美
　　竹内玲子
　　元重夏実
４年　大上真奈
　　沖坂　凪
　　田中　雛
　　福本　愛
　　松田杏那
　　川本　光
　　汲地春菜

騙されるな　　ビートたけし

人は何か一つくらい誇れるものを持っている
何でもいい、それを見つけなさい
勉強が駄目だったら、運動がある
両方が駄目だったら、君には優しさがある
夢をもて、目的をもて、やれば出来る

こんな言葉に騙されるな、何も無くていいんだ
人は生まれて、生きて、死ぬ
これだけでたいしたもんだ

（『一遍の詩があなたを強く抱きしめる時がある』水内喜久雄編　ＰＨＰ発行）